

重点的に取り組んだ活動・内容

項 目	実 践 状 況
<p>1 実践1 【人権教室】</p>	<p>茨城県人権擁護委員連合会の協力のもと、3学年を対象に人権教室を実施した。「いじめ」という行為を例に、登場人物の気持ちを考える事を通して、他人への思いやりやいたわりの心といった人権尊重意識を養うことを目的として、助言を頂いた。映像教材を視聴したり、自分の考えをワークシートに表現したりする活動を行った。</p> <hr/> <p>成果 映像教材を視聴したことで、児童はより身近な問題として「いじめはゼツタイわるい」という考えを深めることができた。また、自分達と同じ立場に立った際、どのような行動を取るか、当事者意識をもってワークシートに考えを書き込む姿が見られた。</p> <hr/> <p>課題 自分の考えを表現する際、文章化することに苦手意識をもっている児童に対してもより有効な手立てを講じたい。</p>
<p>2 実践2 【いじめノックアウト運動】</p>	<p>児童会事務局委員会の児童が中心となり、いじめについて考え、いじめをなくすための標語なスローガン作りを企画し、各学級でいじめ撲滅のための標語・スローガン作りを行った。特別の教科道徳の時間や学級活動の時間に、いじめに関する題材などを取り扱い、話し合いを行った。また、作成したスローガンを昇降口に掲示した。</p> <hr/> <p>成果 話し合い活動を通して、いじめに対する理解と認識を深め、いじめは許されないという意識が高まった。自分たちの生活をふり返り、友達との接し方を考えたり相手の気持ちを考えた行動をとったりする児童が増えた。</p> <hr/> <p>課題 いじめに限らず、様々なテーマで児童が人権教育について考える機会を設定していきたい。</p>